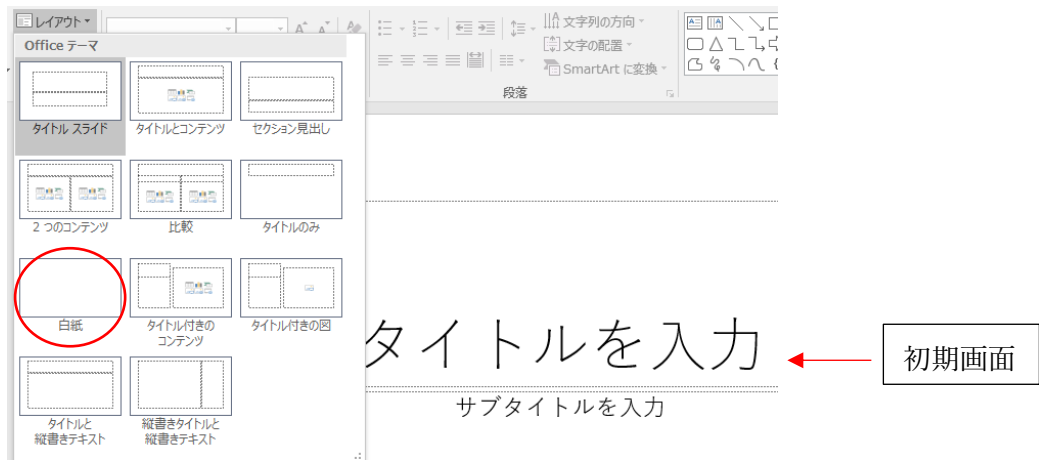


PowerPoint で映像を作る

1. 作成のための準備

初期画面では、タイトル・サブタイトルを入力する枠があるので、レイアウトをクリックして白紙画面にする。



2. スライドのサイズを決める。

4 : 3 16 : 9 ユーザー設定がある。(近年のパソコンや TV の画面サイズは 16 : 9 になっています。)

3. 背景の書式設定をする。

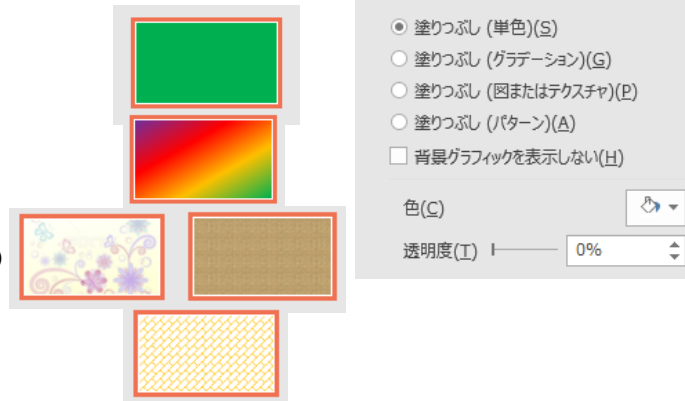
初期画面では、背景は白になっています。
塗りつぶしを使っていろんな背景に設定できます。

単色

グラデーション (角度 45°)

図またはテクスチャ (画像・麻)

パターン



すべてに適用すると新しいスライドも同じ背景になる。
ページごとに背景を変えたい時は、個々に設定する。

4. ワードアート・テキストボックス・画像などでタイトルを入れる。

下はワードアート作ったタイトルと背景にテクスチャを使ったもの。



5. タイトルにアニメーションを付ける。

アニメーションを付けるタイトルをクリックする。

アニメーションをクリックしてパターンを選択し、タイミングを調整する。

継続時間の数字を大きくするほど、ゆっくり動く。



調整したらプレビューで確認する。(うまくいってなければ再調整する。)

一文字ごとに表示したいときは、アニメーションウィンドウを開いておこなう。

6. 新しいスライドを追加する。



7. スライドにする画像を挿入から追加する。

一画面に複数の画像を追加できる。

右は挿入から画像を追加し、図形に合わせてトリミングしたもの。

左は挿入からビデオを追加し、ビデオの図形で雲形にしたもの。

それぞれ枠線を太くして黄色にしている。

このように画像・ビデオを変形することが可能です。



8. 必要ならばそれぞれの画像にキャプションを付ける。(ワードアートかテキストボックスで)



9. アニメーションを付けて擬ったものにする。

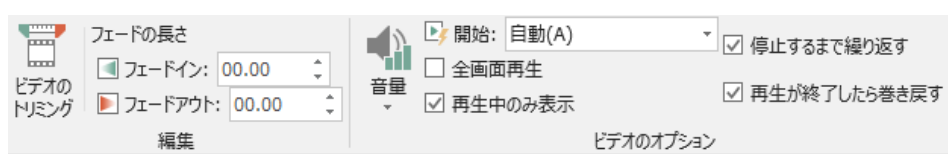
表示する順番にアニメーションを付けていく。

クリック時を「直前の動作の後」または「直前の動作と同時」に変更する。

継続時間を調整する。(初期値 00.50 修正 05.00~07.00 くらいが良い。)

動画は、前記の設定はできない。

再生タブをクリックして、開始は「自動」全画面表示以外にチェックを入れる。



10. さらに新しいスライドを追加する。

画像がまだあって1ページに収まらない時は、スライドを追加していく。
後の手順は前のページと同じ。

11. 最後のスライドにクレジットを入れる。



(参考として5スライド)

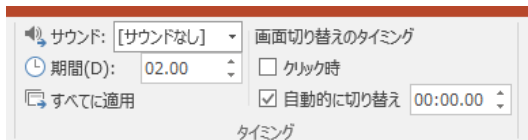


12. 画面の切り替え効果を付ける。

単に画面が切り替わるだけでは面白くないので切り替え効果を付ける。



タイミングで切り替え時の調整をする。(すべてに適用すると同じ切り替え効果になる。)



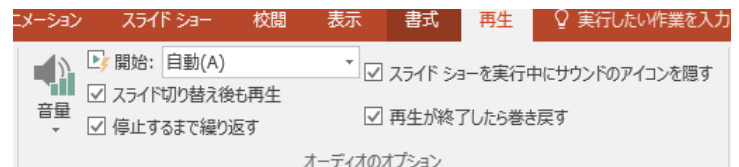
13. BGMを入れる。

挿入からオーディオをクリックして
このコンピューター上のオーディオを保存してある音楽ファイルを選択する。
開始を自動に
その他の項目にもチェックを入れる。



14. プレゼンテーションまたは動画として保存する。

名前を付けて保存する。
ファイル名を付け、ファイルの種類をプレゼンテーション (修正・追加が可能)、
また、プロジェクターなどを使いプレゼンテーション用として使用できる。(pptx)



MPEG-4 ビデオ・Windows Media ビデオ (完成した動画として保存)

DVD 用に変換可能。

エクスポートする。

保存する項目を選択。
ビデオの場合は、サイズ・画質を選び
ビデオの作成をクリックする。



プレゼンテーションパックというのは、他のパソコンで使うときに材料をまとめて保存。

15. 画像を長く表示しておくテクニック (付録)

ページの切り替えのとき、画像のアニメーションが終了するとすぐ切り変わるので、
長く表示しておくために、背景の一部などを一番最後に貼り付けて継続時間を長くする。